

【樹木・草花の部屋】

キキョウ（キキョウ科キキョウ属 Platycodon grandiflorus）

和名（漢字）；桔梗 別名； 英名；balloon flower

キキョウ目 多年性草本植物

原産地；日本、朝鮮半島、中国東北部

花言葉；やさしい愛情、誠実、従順、変わらぬ愛、変わらぬ心、清楚、気品、正義

花の色；赤、ピンク、青紫、紫、白



⇒ 写真－1 キキョウの花

撮影日：2004年6月26日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん

園芸品種には白や桃色の花をつけるものや、鉢植え向きの草丈が低いもの、二重咲きになる品種やつぼみの状態のままほとんど開かないものなどがあります。つぼみの状態では花びら同士が風船のようにぴたりとつながっている。つぼみが徐々に緑から青紫にかわり裂けて 6-9 月に星型の花を咲かせる。

写真－2 キキョウの花 ⇒

撮影日：2004年7月1日

撮影場所：奈良県大和郡山市

M邸にて

撮影者：Mさん



<ちょっと一言>

雌雄同花ですが雄花期と雌花期がある。花冠は広鐘形で五裂、径 4-5cm、雄しべ・雌しべ・花びらはそれぞれ 5 本。秋の七草のひとつで日本人にも馴染みの深い野草です。

比較的長い間、次から次に綺麗な花を開花させてくれます。花後の花がう摘みをこまめに続けると全体を綺麗に維持することができます。

【樹木・草花の部屋】

キキョウの根はサポニンを多く含むことから生薬（桔梗根という）として利用され、去痰、鎮咳、鎮痛、鎮静、解熱作用があるとされ、消炎排膿薬、鎮咳去痰薬などに使われているそうです。

日当たりを好みますが、明るい日陰や午前中に日がさし込む程度の場所でも育ちます。暑さには強いのですが根が乾燥すると生育が弱ります。鉢植えの場合、真夏は直射日光の当たらない明るい日陰に……。地植えの場合は地面に直射日光が当たる場所は乾きやすいので要注意。

多年草なので冬季は地上部が枯れますが、翌年、新しい芽をだし、毎年、楽しませてくれます。

また、乾燥が原因でハダニが葉に付くことがあります。ハダニは水分のあるところには発生しないので水やりの時に葉にも水がかかるようにするとある程度予防することができます。

キキョウは秋の七草のひとつです。

[ハギ](#)、オバナ（ススキ）、キキョウ、ナデシコ、オミナエシ、[フジバカマ](#)、クズ
覚え方は「ハスキーなお袋」だそうです。